

ふれあいねもとたより

平成28年

11月1日

第123号

編集 発行 根本校区地域福祉協議会

多治見市北丘町 1-73(根本 22 区民館構内) Tel& fax 0572-27-6605

ふれあいねもとでは



10月の「相談窓口」 民生児童委員相談窓口 相談窓口事業部会

10月1日～31日(土・日・祝日を除く) 20日間延べ 58人で対応。 対応件数: 17件。

(支援相談 2件 地域内団体との連絡調整 10件 市・社協・区関係 2件 地域力関係 3件)

子育て支援活動

10月12日 根本交流センターにて読み聞かせを行いました。読んだ本は「アリのおでかけ」「にっこり」「パンダの銭湯」「いもほり」の4冊。発泡スチロールを利用して、絵をかくて、お風呂に浮かべて遊ぶものを作りました。参加者 親 22人 子ども 20人 スタッフ 3人

挨拶で「絆の日」

10月14日

多治見市青少年まちづくり市民会議

7月1日に次いで、今年2回目の「絆の日」がやってきました。

根本校区でも各所で行われましたが、今回は明和町取材してきました。高根山の麓にある横断歩道には、根本小学校の先生をはじめ明和第二町内会、根本校区まちづくり市民会議、ふれあいねもと、ねもと地域力防犯パトロール隊などの市民が多数集まって、登校途中の児童と挨拶をかわしました。

子どもたちも手をあげて元気に挨拶をしてくれました。



第3回NIG健康講座

10月20日

根本22区民館 参加者 24名

今月は「みんなでゴグニサイズ」。Cognition(認知)とExercise(運動)を組み合わせた健康体操です。運動で体の健康を促すと同時に、脳の活動を活発にすることによって、認知症の発症を遅らせる効果があると云われています。昨年同様「爽ヶアグループ」から3人のイケメンインストラクターをお迎えして、笑いながらの楽しい体操で、認知能力もアップ! みんな元気になってお帰りになりました。12月15日(木)はNIG健康講座の最終回です。多数の方のご来場をお待ちしています。



「ふれあいねもと健康・介護相談室」開設のご案内

開設日・時間

11月18日(金) 午前11時から12時まで。

相談員

南姫地域包括支援センターから派遣されます。

開設場所

ふれあいねもと事務所(根本22区民館構内)

お問い合わせ

電話 27-6605

健康・介護相談室は、奇数月の第3金曜日に開催します



31区では

寄せ植え作り 10月7日 旭ヶ丘第8町内ひまわりサロン

北栄高齢者支援センターの可児きよみさんのお世話で、園芸福祉士の江口美恵子さんを講師に5種類の花を寄せ植えしました。いつもは12月ですが今年は10月でしたので、少し花の種類が違います。江口先生には、いつも何から何まで準備して頂き、バランスを考えてただ植えるだけですので恐縮しております。有難うございました。



秋晴れの下で野外活動 10月10日 サロンあさひ会

今月は、いつも使わせていただいている6丁目の北公園で草刈り清掃を行い終了後ミニグラウンドゴルフで楽しみました。野外活動も気持ちの良いものです。

22区では

映画「阿弥陀堂だより」鑑賞会 10月14日 根本愛郷会ひまわりサロン

今年もねもと交流センターにて映画鑑賞会を開きました。

東京の大学病院に勤務していた女医さんが、流産をして心の病にかかります。病院を辞めて、売れない小説家の夫と共に長野県の山村に引っ越してきました。そして村の診療所に勤めることとなります。



思いやりのある村人達との交流を深めるうちに、言葉の話せない少女と村外れの阿弥陀堂に1人で暮らすお婆さんのことを知ります。

少女は、お婆さんの昔話を聞いては、村の広報誌に「阿弥陀堂だより」を連載します。ある日、少女は難病にかかり、女医さんと東京の大学病院へ行き手術を受けます。女医さんの執刀で少女は一命をとりとめます。女医さんも心の病が治って、新たに子どもが授かるというお話です。

(2002年東宝系公開。寺尾 聡 樋口可南子 主演 少女 小百合役の小西真奈美は日本アカデミー賞最優秀新人賞に輝いた)

秋の折り紙細工 10月20日 根本第三ふれあいサロン

爽やかな秋と言いたいところですが、まだ夏の暑さが残っているこの日は、根本第三集会所で折り紙づくりが始まっていました。

何色もの鮮やかな色紙をつかって、物入れや飾り絵などめいめい自分の考えで、たくさん作りました。

終わりに、いつものようにラジオ体操をして散会。



明和第二町内では

新明会秋の旅行「水郷琵琶湖の旅」 10月24日 参加者 39人

多治見悠光クラブ「新明会」の旅行は、近江八幡と近江長浜の水郷めぐり。まずは長浜観光で黒壁スクエアを見物。江戸から明治にかけて建てられた黒漆喰の建物群を見学して、お楽しみの昼食は「長浜浪漫ビール」で肉料理に舌鼓。

次に近江八幡へ移動して、お目当ては「八幡堀の船下り」を満喫しました。八幡堀は、幅員15m全長6kmにも及ぶ水路で、水運物流で栄えた近江商人を生んだとも云われる。今では、観光船のお客で繁盛して、予約なしでは乗船が難しい。最後は、近江商人の信仰が厚い日牟禮八幡宮を参拝して、多治見へ帰りました。

